

平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年4月14日
上場取引所 福

上場会社名 日創プロニティ株式会社
 コード番号 3440 URL http://www.kakou-nisso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 西川 新二 TEL 092-552-3749
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の業績（平成26年9月1日～平成27年2月28日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	4,360	19.7	1,458	△4.5	1,460	△4.5	892	△0.6
26年8月期第2四半期	3,643	12.6	1,526	5.6	1,528	5.8	897	10.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	122.38	121.75
26年8月期第2四半期	122.01	121.28

(注) 平成25年12月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第2四半期	9,185	6,856	74.6
26年8月期	8,489	6,284	74.0

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 6,856百万円 26年8月期 6,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2. 26年8月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭、記念配当15円00銭

3. 平成27年8月期の業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	△9.2	1,810	△36.0	1,810	△36.4	1,105	△49.4	151.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期2Q	7,360,000株	26年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	27年8月期2Q	104,200株	26年8月期	3,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期2Q	7,291,292株	26年8月期2Q	7,356,800株

(注)平成25年12月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府と日銀による経済政策及び金融緩和政策の継続等を背景に緩やかな回復基調にあり、設備投資は概ね横ばいながらも企業収益では改善の動きが見られました。また、企業の景況感は、全体としては概ね横ばいとなっていますが、一部に改善の兆しも見られました。

このような経済環境のもと、電力各社による再生可能エネルギー発電設備に係る系統接続の受付が出力制御を条件として順次再開され、系統接続承認済みで未着工の太陽光発電設備及び新規の設備案件に対し、きめ細かな営業活動を行いました。

具体的には、主力のオーダー加工品部門においては、受注済み案件の納品を進めるとともにメガソーラー向け架台、中・小規模の産業向け架台及びパネル類の受注・販売に注力し、企画品部門及びその他の部門においても、販売ベースの底上げに努めたことにより、売上高は総体として増収基調で推移しました。また、材料費の増加、福島工場の通期稼働に伴う労務費及び製造経費の増加等により、売上原価は増加いたしました。

以上により、当第2四半期累計期間における売上高は4,360百万円(前年同四半期比19.7%増)、営業利益は1,458百万円(同4.5%減)、経常利益は1,460百万円(同4.5%減)、四半期純利益は892百万円(同0.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は、前事業年度末に比べ696百万円増加し9,185百万円となりました。これは主に、現金及び預金が692百万円、受取手形及び売掛金が223百万円それぞれ増加し、商品及び製品が259百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ124百万円増加し2,329百万円となりました。これは主に、未払法人税等が54百万円、賞与引当金が57百万円それぞれ増加し、長期借入金が49百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ571百万円増加し6,856百万円となりました。これは主に、利益剰余金が671百万円増加したことと自己株式を99百万円取得したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ676百万円増加し、3,094百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,360百万円(前年同四半期は185百万円の獲得)となりました。

主な収入要因は、税引前四半期純利益1,460百万円、減価償却費199百万円及びたな卸資産の減少251百万円であり、主な支出要因は、売上債権の増加126百万円及び法人税等の支払額481百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は262百万円(前年同四半期は562百万円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出219百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は421百万円(前年同四半期は260百万円の使用)となりました。

これは主に、自己株式の取得による支出99百万円及び配当金の支払額219百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月14日に公表の平成27年8月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,622,300	3,315,254
受取手形及び売掛金	1,972,780	2,195,936
電子記録債権	98,596	1,420
商品及び製品	306,430	47,112
仕掛品	211,216	162,442
原材料及び貯蔵品	287,413	344,069
繰延税金資産	87,934	62,401
その他	49,687	138,712
貸倒引当金	△675	△12,526
流動資産合計	5,635,683	6,254,822
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	967,252	941,099
構築物(純額)	78,975	71,691
機械及び装置(純額)	1,184,595	1,106,754
車両運搬具(純額)	8,604	7,275
工具、器具及び備品(純額)	78,456	65,192
土地	399,601	596,269
リース資産(純額)	18,231	26,898
建設仮勘定	47,246	5,287
有形固定資産合計	2,782,964	2,820,468
無形固定資産	65,667	80,162
投資その他の資産		
破産更生債権等	4,373	4,278
その他	4,992	30,407
貸倒引当金	△4,373	△4,278
投資その他の資産合計	4,992	30,407
固定資産合計	2,853,624	2,931,038
資産合計	8,489,308	9,185,860

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	202,099	230,795
短期借入金	403,000	357,000
1年内返済予定の長期借入金	106,033	103,333
未払法人税等	501,017	555,190
賞与引当金	—	57,132
その他	274,675	352,093
流動負債合計	1,486,825	1,655,543
固定負債		
長期借入金	170,339	120,341
退職給付引当金	34,267	35,789
長期未払金	300,200	300,200
繰延税金負債	196,405	193,783
資産除去債務	1,330	1,330
その他	15,320	22,591
固定負債合計	717,862	674,036
負債合計	2,204,687	2,329,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,102,806	1,102,806
利益剰余金	4,004,979	4,676,590
自己株式	△133	△100,084
株主資本合計	6,284,620	6,856,280
純資産合計	6,284,620	6,856,280
負債純資産合計	8,489,308	9,185,860

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	3,643,336	4,360,628
売上原価	1,684,228	2,442,489
売上総利益	1,959,108	1,918,139
販売費及び一般管理費	432,303	459,999
営業利益	1,526,805	1,458,139
営業外収益		
受取利息	514	326
受取家賃	2,193	2,907
助成金収入	450	—
貸倒引当金戻入額	—	20
その他	973	1,076
営業外収益合計	4,131	4,330
営業外費用		
支払利息	2,501	1,504
自己株式取得費用	—	702
営業外費用合計	2,501	2,206
経常利益	1,528,435	1,460,263
特別損失		
固定資産売却損	—	158
固定資産除却損	—	8
特別損失合計	—	166
税引前四半期純利益	1,528,435	1,460,096
法人税、住民税及び事業税	586,773	544,871
法人税等調整額	44,093	22,909
法人税等合計	630,867	567,781
四半期純利益	897,567	892,315

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,528,435	1,460,096
減価償却費	83,962	199,027
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,063	11,756
退職給付引当金の増減額(△は減少)	317	1,522
賞与引当金の増減額(△は減少)	56,650	57,132
受取利息及び受取配当金	△514	△326
支払利息	2,501	1,504
固定資産売却損益(△は益)	-	158
固定資産除却損	-	8
売上債権の増減額(△は増加)	△186,986	△126,085
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,752	251,436
仕入債務の増減額(△は減少)	90,057	28,696
未払費用の増減額(△は減少)	23,671	△66,359
その他	△125,416	24,434
小計	1,466,988	1,843,002
利息及び配当金の受取額	514	326
利息の支払額	△2,545	△1,498
法人税等の支払額	△1,279,506	△481,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	185,449	1,360,304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△77,311	△80,322
定期預金の払戻による収入	60,761	63,811
有形固定資産の取得による支出	△523,860	△219,424
無形固定資産の取得による支出	△21,848	△1,100
投資有価証券の取得による支出	-	△25,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△562,259	△262,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70,000	△46,000
長期借入金の返済による支出	△86,115	△52,698
自己株式の取得による支出	-	△99,951
リース債務の返済による支出	-	△2,649
配当金の支払額	△103,912	△219,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260,027	△421,264
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△636,837	676,443
現金及び現金同等物の期首残高	3,876,722	2,418,052
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,239,884	3,094,496

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、金属加工事業の単一セグメントであるため、事業部門ごとに記載しております。

①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績を事業部門ごとに示すと、次のとおりであります。

事業部門	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
オーダー加工品	2,031,812	138.3
企画品	125,123	85.3
その他	18,222	144.6
合計	2,175,158	133.6

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第2四半期累計期間の受注状況を事業部門ごとに示すと、次のとおりであります。

事業部門	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
オーダー加工品	2,173,345	54.0	1,429,408	57.2
企画品	157,395	74.3	3,992	16.3
その他	141,156	89.5	44,023	146.8
合計	2,471,897	56.3	1,477,424	57.8

- (注) 1. 受注高及び受注残高が前年同期に比べ著しく減少した要因は、主にメガソーラー向け及び産業向け架台の受注が減少傾向にあったことに対し、売上が増加したことによるものであります。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績を事業部門ごとに示すと、次のとおりであります。

事業部門	当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
オーダー加工品	4,045,835	124.1
企画品	158,017	81.7
その他	156,776	83.2
合計	4,360,628	119.7

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)		当第2四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
日揮株式会社	450	0.0	966,479	22.2

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。